

学協会規格策定活動の強化

1. ステークホルダーとのインターフェイスの改善
2. 緊急度や重要度に応じた優先度に基づく学協会規格整備計画の見直しと策定活動の推進
3. 規格の高度化と品質向上への取組み
4. これらのための運営基盤の充実

学協会規格策定活動の課題

1. 学協会規格の位置づけと活用のあり方
 - 規制基準との関係や相補性、性能規定と仕様規定
 - 規制審査対応(規制基準、検査制度)か自主的安全性向上のためか
 - 事業者が(説明性を)必要とする実施基準、手順書
2. 整備すべき学協会規格の優先順位
 - 規制側、事業者・産業界の現在と将来計画における必要性(ニーズ)
 - 研究開発、情報基盤知識体系の充実(シーズ)
 - IAEA等での規格体系の進捗との整合、海外諸国の規格等の取込み
3. 新たな知見を生出す仕組みと規格への取込み・品質向上
 - 研究開発ロードマップや情報基盤・知識ベースの充実
 - コードエンジニアの評価、育成
 - 原子力安全の目的をふまえた規格策定の重要性に関する共通認識